

報告書

甲斐市議会公明党

報告者 保坂芳子

1、 タイトル 障がい福祉の動向とこれから

地方自治体に必要な取組を考える

2 場所 地方議会総合研究所アットビジネスセンター池袋駅前別館

3、 日時 平成31年3月28日（木）10時から17時

4、 講師 小澤 温 筑波大学教授

5、 受講者 保坂芳子・金丸幸司・加藤敬徳

6、 内容

1、 近年の障がい福祉施策の動向（その1）

(1)障害者権利条約批准へのあゆみ(2)障害者基本法の改正

(3) 障害者差別解消法の成立と展開

2、 近年の障がい福祉施策の動向（その2）

(1) 障害者総合支援法の成立と改正 (2)第5期障害福祉計画作りとその特徴

3、 地域生活支援について

(1) 入所施設から地域生活への移行 (2)親亡き後の対策と地域生活支援拠点整備

4、 相談支援体制について

(1) 相談支援事業の実際 (2)基幹相談支援センターの役割と課題

(3) 相談支援にかかわる人材育成と専門性

5、 就労支援について

(1) 一般就労につなげていく取り組みの現状と課題(2)福祉的就労の課題と展望

(3) 新しい就労の取り組み

6、 障がい児支援について

(1) 第一期障害児福祉計画作り (2)障がい児支援サービスの課題と展望

7、 まとめ

今後に向けて地方自治体として必要な取り組み

受講しての感想

講師の方が国の様々な審議会や東京、群馬など地方自治体ともかかわっていて法律を元に実態に即した話をしていただいたので、とてもよかった。「合理的配慮」の件や介護保険はスムーズにいつているが障がい者は難しい点が多い。についてはなるほどと思った。

障害者総合支援法施行3年後の見直しの10の論点を学習したが、今後市にも伺いたい。また特に相談基幹センターの役割や人材育成の重要性を学習したので甲斐市に於いてどうなのか調べてみたい。あまりに膨大すぎて大変だったが、知っていないと提案もできないので、資料をよく読み返したい。